

小鴨集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成22年 2月24日

修正日：平成22年11月29日

市町村名	倉吉市	組織名	農事組合法人おがも
1 地区の範囲 倉吉市小鴨地区			
2 地区の概要			
水田面積	38.30 ha		
主な水田栽培作物	水稻・大豆		
農家数	55 戸		
認定農業者数	1 経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手数	0 経営体		
3 組織化の目標（設立時期の目標は、事業実施年度内とする。） ・設立時期（規約等の制定日）【平成22年 3月31日】			
	組織形態（該当形態に ）	加入農家数	
【現状】前年度実績 （20年度）	<input type="radio"/> 未組織 <input type="radio"/> 作業受託型 <input type="radio"/> 共同利用型 <input type="radio"/> 協業経営型	0 戸	
【目標】事業開始翌年度 （22年度）	<input type="radio"/> 共同利用型 <input checked="" type="radio"/> 協業経営型 <input type="radio"/> 作業受託型	19 戸	
4 集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
項 目	【現状】	【目標】	
集 積 面 積	0 ha	18.65 ha	
うち経営及び作業受託	0 ha	18.65 ha	
対象水田面積 A	32.509 ha	32.509 ha	
集 積 率 / A	0 %	57.4 %	
うち経営及び作業受託 / A	0 %	57.4 %	
注1) の集積率の目標は採択要件。50%超が必要。 2) の作業受託による集積率の目標が、50%超の場合は事業費上限10,000千円（新設組織の場合は事業費上限20,000千円）、50%以下の場合は事業費上限5,000千円。 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。			

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】
<p>1 担い手の明確化及び水田利用集積目標</p> <p>現在、集落内の認定農業者は養豚農家だけで、地域水田農業ビジョンに位置づけられた担い手はいないため、集落外の担い手による入作が1/4以上を占める状態となっている。このため、今後の集落内の水田農業を守り、転作を含めた効率的な営農を行うための中心となる法人を設立する。定年退職者を中心にオペレータの育成を行いながら、利用権設定による水田の集積を図るとともに、大型コンバインや乾燥籾摺調製施設の導入により、機械の共同利用を進め、コストの低減による経営の安定を図るとともに、おいしい米の穫れる産地の利点を生かし、産直・契約栽培による所得の安定を目指す。</p> <p>将来的には、耕作できなくなった農家の受け皿組織として、入作地を順次解消していくことにより、集落内の話し合いによる営農計画の策定、営農意欲の向上、若い担い手の育成につなげていく。</p>
<p>2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策</p> <p>水稻については、ひとめぼれ・コシヒカリの作付が90%以上を占めており、作業が集中するため、きぬむすめや多収米のみつひかり・もち米の中生品種の作付を行うことで、作業の分散を図る。</p> <p>転作については、現在、団地化ができていないため、入作者の協力を得ながら出来るところから団地化を図り、作業効率を上げる中で豆類を中心に作付をし、収量の安定による所得の向上を図る。</p>
<p>3 農業用機械施設の効率利用</p> <p>現在、各農家の所有するトラクター・田植機等の農機具があるので、まずは個人所有の機械を効率的に利用するとともに、個人での更新は行わず、今後、必要となった場合は、法人で購入する。また、現在集落で共同利用しているコンバインが、導入後8年経過し老朽化が進み修理等で予定通りの作業が出来なくなってきているため、新たに導入する予定である。さらに集落内に米の乾燥籾摺調製施設を導入することで適期作業の実現による品質向上とコスト低減による所得の向上を図る。</p> <p>田植機は疎植対応と除草剤散布機の付いた機種に更新することにより、苗代・労力の低減を図り、病気に強い稲作りによる増収へつなげる。</p> <p>溝掘機は大豆の排水対策として、水稻播種機は共同育苗用としてそれぞれ導入し、コスト低減を図る。</p>
<p>4 経営多角化の方針・具体策</p> <p>稲作と転作大豆だけでは、労力が一時的なものに偏るので、法人として年間を通して労力を必要とした経営形態をとることで所得の安定と雇用の場の提供を図る。具体的にはJAで産地として確立している白ねぎ、キャベツ、ブロッコリーを作付けする。</p>

農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定 年月	本事業による 導入機械に
乾燥機	5 2石	1台	1,980,000	H23.3	
	3 2石	1台	1,593,000	H23.3	
	3 0石(汎用)	1台	1,746,000	H23.3	
籾摺機	5 インチ	1台	850,000	H23.3	
調製機 他		1式	2,490,000	H23.3	
コンバイン	4条刈	1台	借り上げ	導入済	
田植機	5条植	1台	2,700,000	H23.3	
溝掘機		1台	567,000	H23.3	
水稻播種機	全自動	1台	350,000	H23.3	